

令和2年度かながわコミュニティカレッジ講座編成の考え方の検討について

1 基本方針

令和元年度の講座編成の考え方（下記「参考」参照）は、平成30年度に取りまとめた、別添「第4期中期的な取組みの方向性（令和元～3年度）」の内容を反映させたものである。

この中期的な取組みの方向性は、今後3年間の方向性を定めたものであり、現時点では、スタートして間もなく、講座実績も出ていないことから、令和2年度の講座編成の考え方についても、令和元年度と同様とすることを基本としたい。

2 確認事項及び論点

次の点については、委員の意見を伺い、修正追加等があれば変更する。

(1) 確認事項

- ア メインテーマを変更する必要があるか。
- イ 分野については従来の8分野でよいか。

(2) 論議すべき事項

- ウ 考慮すべき事項は、(ア)、(イ)としてよいか。

講座の企画提案を募集する際に、従来の講座以外にも参考例を追加することで、新たな講座企画提案が増える可能性がある。

そこで、次の観点から自由な意見をいただき、講座企画提案募集時の参考としたい。

- ① コミカレで実施して欲しい講座
- ② 今、必要とされている講座
- ③ 現在はニーズが少なくとも、今後に向けて必要と考える講座
- ④ どのような手法を使った講座が人材育成に有効か など

(参考) 令和元年度かながわコミュニティカレッジ講座編成の考え方と事業計画への反映状況

※【基本方針】令和2年度の講座編成の考え方（案）も
同様とすることを基本とする



	令和元年度 講座編成の考え方	令和元年度 事業計画への反映状況
(1) メインテーマ	<p>「人生100歳時代における共助の社会づくりをめざして」</p> <p>※ 平成31年度運營業務の編成に際しての全体的なテーマとして掲げることとする。</p> <p>ただし、メインテーマはかながわコミュニティカレッジとして人材育成を行っていく上での方向性を指し示すものであり、全ての講座において必ずしも適用されなければならないものではない。県民のニーズに応じた特定の課題の解決に繋げる講座の開催も可能である。</p> <p>※ 【確認事項】 変更する必要があるか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「人生 100 歳時代における共助の社会づくりをめざして」と題する無料セミナーを6月29日に実施し、カレッジ全体のテーマ設定を明確に示した。 ・ 共助の社会づくりに向けては、「新たに地域・社会活動に参画する人材」と「地域・社会活動を推進・発展させる人材」がともに必要となるため、年間を通して、双方を受け入れることができる講座編成とすることで、県民の方々が、自らの興味・関心の所在や活動の状況に応じて、段階的に学ぶことを可能とした。

<p>(2) 講座編成に係る基本的な考え方</p> <p>ア 必ず実施すべき講座</p>	<p>次の8つの分野（その他を除く）において、それぞれ1講座以上提案（主催講座、連携講座のどちらに位置づけるかは任意）すること。</p> <p>その際、体系的に人材を育成する観点から、可能な範囲で、人材を掘り起こす「入門講座」と、活動経験者が必要なスキルを学ぶことのできる「専門講座」を組み合わせるなどの工夫をすること。</p> <p>①地域の支え合い ②災害救援・減災・防災 ③地域活性化 ④団体運営 ⑤保健・医療・福祉 ⑥子どもの健全育成 ⑦人権 ⑧環境 ⑨その他</p> <p>※【確認事項】上記の8分野でよいか。</p> <p>分野① 地域の支え合いの市町村との協働による「入門講座」は、必ず企画提案するものとするが、委託契約締結後、県と運営業務受託者が協議し、内容を確定した上で、別途実施するものであるため、主催講座及び連携講座には位置付けない。</p> <p>ただし、企画提案された「入門講座」と連動して実施する「専門講座」は必ず提案するものとし、主催講座に位置付けること。</p> <p>分野② 災害救援・減災・防災の「専門講座」にあたる講座については、災害時にボランティアの受入調整等を行うことのできる人材づくりの講座を必ず提案に加えること。</p>	<table border="0"> <tr> <td>① 地域の支え合い</td> <td>主催6講座</td> <td>連携2講座</td> </tr> <tr> <td>② 災害救援・減災・防災</td> <td>主催1講座</td> <td>連携3講座</td> </tr> <tr> <td>③ 地域活性化</td> <td>主催1講座</td> <td></td> </tr> <tr> <td>④ 団体運営</td> <td>主催5講座</td> <td></td> </tr> <tr> <td>⑤ 保健・医療・福祉</td> <td>主催3講座</td> <td>連携5講座</td> </tr> <tr> <td>⑥ 子どもの健全育</td> <td>主催3講座</td> <td>連携2講座</td> </tr> <tr> <td>⑦ 人権</td> <td>主催1講座</td> <td>連携1講座</td> </tr> <tr> <td>⑧ 環境</td> <td></td> <td>連携1講座</td> </tr> </table> <p>・「社会的要請」「県民ニーズ」「プログラムの構成力」「実施団体の運営力」「講座終了後の発展性・フォローアップ体制」等を精査し、8分野全てを網羅した講座編成を行った。</p> <p>・市町村と協働して実施する「入門講座」は、三浦市（社会福祉協議会）と実施に向けて調整中。</p> <p>・「専門講座」は、「共助の地域づくりを推進する講座」等を主催講座で計画している。</p> <p>・地域が被災した際の受援力を高めるボランティアコーディネーターのスキルアップを図るため「災害時実践トレーニング」講座を実施予定。</p>	① 地域の支え合い	主催6講座	連携2講座	② 災害救援・減災・防災	主催1講座	連携3講座	③ 地域活性化	主催1講座		④ 団体運営	主催5講座		⑤ 保健・医療・福祉	主催3講座	連携5講座	⑥ 子どもの健全育	主催3講座	連携2講座	⑦ 人権	主催1講座	連携1講座	⑧ 環境		連携1講座
① 地域の支え合い	主催6講座	連携2講座																								
② 災害救援・減災・防災	主催1講座	連携3講座																								
③ 地域活性化	主催1講座																									
④ 団体運営	主催5講座																									
⑤ 保健・医療・福祉	主催3講座	連携5講座																								
⑥ 子どもの健全育	主催3講座	連携2講座																								
⑦ 人権	主催1講座	連携1講座																								
⑧ 環境		連携1講座																								
<p>イ 講座編成にあたって考慮すべき事項</p>	<p>(ア) 通常の講義形式のほか、ワークショップや活動現場を体験できる現地実習、社会調査（アセスメント）の活用など実践的なカリキュラムを可能な範囲で盛り込むこと。</p> <p>(イ) 提案する講座が全体テーマの趣旨に沿う内容となるよう、「多世代交流」「若者の社会参加」「地縁型組織」などの要素を可能な範囲で盛り込むこと。</p> <p>※ 【議論すべき事項】</p> <p>・考慮すべき事項は、(ア)、(イ)としてよいか。</p> <p>・従来の講座以外で、実施して欲しい講座、今、必要とされている講座があるか。（参考例として、企画提案募集の際に盛り込む。）</p>	<p>・多数の講座で、ワークショップや現地実習など実践的なカリキュラムを盛り込んでいる。</p> <p>・「マンション防災ワークショップ」では、社会調査（アセスメント）を活用している。</p> <p>・カラダづくり運動プレイリーダー養成（子どもの運動遊びの支援を通して多世代交流が進み、学校と地域の協働の仕組みを学び活動に活かす。）</p> <p>・発達障がい児地域支援コーディネーター養成（基礎、実践） （若者の社会参加と支援、発達障がい児等の理解と支援の要素をプログラムに盛り込む。）</p> <p>・共助の地域づくりを推進する （地縁型組織の活動の活性化を目指した内容である。）</p> <p>・地域活動スタートアップ （活動事例紹介に地縁型組織の活動（生活支援等）を含めた。）</p>																								